質問順位	6	質問者	寄谷猛男議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
1. 市長の基本姿勢	1. 新しい文化センターの建設について	<p>1. 令和5年度中に新しい文化センターの建設場所を確定させた上で、対象施設や事業実施時期、対策費用など文化施設複合化事業の内容を示すとしているが、建設場所は確定したのかを伺う。</p> <p>また、市民が利用する施設であるから市民の希望を吸い上げ、検討しながら文化施設複合化事業の内容を練り上げていくべきであると考えますが、市庁内部での内容作成にとどまっているか。市長の考えを伺う。</p>			
	2. 公共交通について	<p>1. 市内路線バスの片廻り運行が予定され、市外からの西高通学生徒の利便性確保は検討するとしているが、市内の通学生徒の利便性は低下する。また、2026年度から生徒の募集を停止する奈井江商業高校は、2028年3月をもって廃校となる見通しであり、そうすると新十津川町の高校への進学も想定され、通学手段の確保が必要になってくる。さらに、ふれ愛の里の送迎バス運行を要望する市民の声も根強くあり、送迎バスの運行は、利用客を増やす一つの手段ともなり得ると考える。</p> <p>これらの状況を踏まえ、ますます民間路線バスの維持が難しくなることから、市民の移動手段を確保するために市直営バスの運行を検討すべき時期にきていると考えるが、市長の考えを伺う。</p>			
2. 市民生活行政	1. ヒグマ対策について	<p>1. ヒグマの目撃情報が山林に近い江部乙東地区及び東滝川地区等だけでなく、石狩川沿いに広がっている。その原因の一つに緑の回廊の広がり指摘されている。緑の回廊は、森林生態系における生物多様性の保全に必要であるが、人身事故や農業被害の防止の観点からも適切な草刈りが必要と思うが、市の考えを伺う。</p>			

質問順位	6	質問者	寄谷 猛 男 議員		
件名	項目		要 旨		メモ
3. 保健福祉行政	1. こども発達支援センターの運営について		<p>1. 子どもの発達に不安を抱えながら、こども発達支援センターを訪れる保護者にとって、同じ悩みを抱える保護者同士の連携は重要と思われる。連携の機会としてどのようなものに取り組んでいるのかを伺う。</p> <p>また、コロナ禍では連携の機会が制約されたと思われるが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからの取組みについて伺う。</p>		
			<p>2. こども発達支援センターでは、非常時における子どもの安全確保のために非常災害の発生に備えた避難、救出、その他の訓練が必要であるが、取組みについて伺う。</p> <p>また、非常災害が発生した場合、職員だけで子どもの安全を確保することができるのか。他の公共機関との連携について伺う。</p>		
			<p>3. 事業所内アンケートによれば、放課後等デイサービスでは、こどもの身体的拘束は行わず、適切に対応しているが、そのための職員研修等は行われているのかを伺う。</p>		

質問順位	6	質問者	寄谷猛男議員		
件名	項目	要 旨		メ	モ
		4. 事業所内アンケートによれば、法令で必要とされる以上の職員数を確保しているとしながらも、職員の配置数が適切ではないと感じている職員もおり、おそらく業務量と比較した場合の職員数は不足している等を意味していると思われる。市はどのように受け止めているのかを伺う。			
4. 教育行政	1. 通級指導教室を必要とする子どもの教育の機会の確保について	<p>1. 通常の学級に在籍している困り感のある児童に対しては、各教科等の指導は通常学級で行いつつ、ニーズに応じた特別の指導を行うために、通級指導学級を設置することとされている。</p> <p>しかし、市内すべての小中学校に設置されているわけではなく、日常的に通う学校とは別の学校へ通わなければならない児童生徒もいる。通いたいに通えない児童生徒をなくすべく、すべての小中学校に通級指導教室を設置する、または通いの支援等を行う必要があると考えるが、見解を伺う。</p>			